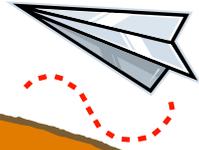




Vol. 14
ゆめ



紙ひこうき

児童書リスト



一宮市立子ども文化広場図書館

～ 子ども読書のまち いちのみや ～

2024年4月

【初級】おはなしを読みはじめたみなさんへ



ぷるぷるひやひやゼリーのプール？

初級

たるいし まこ／作
あかね書房

チャイロは、たっくんのうちのしばいぬです。たっくんがプールのあとゼリーをたべていました。チャイロがいいなあとおもっていたら、ねこのシロが「ゼリーのプールでおよいでみたくない？」といいだしたのです。ゼリーのプールなんてゆめみたいですが……。



まこが、おねえちゃんになった日！

初級

かわしま えつこ／作 高橋 和枝／絵
童心社

まこは、もうすぐ おねえちゃんになります。うまれてくるあかちゃんを、うんとかわいがろうと、わくわくしています。びょういんで、あかちゃんがうまれるのをまつうちに、まこは ねむたくなって……。そこは、なつかしい、あかるい うすみどいろの森でした。

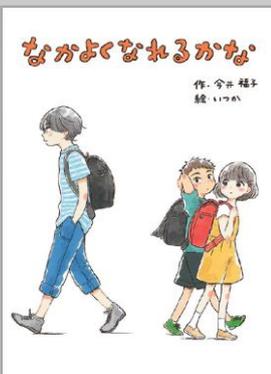


だれもしらない小さな家

初級

エリナー・クライマー／作 小宮 由／訳 佐竹 美保／絵
岩波書店

だれからも みむきもされない 小さな空き家がありました。いつも まどから家の中をのぞいていたアリスとジェーンは、ある日、カギのあいていたドアから はいってみることに。ふたりは、おうちごっこをします。と、そのとき、まどから中をのぞいている人が……。



なかよくなれるかな

初級

今井 福子／作 いつか／絵
文研出版

1ねんせいのおねえは、ウサギのチュロがだいすき。でも、しいくがかりのおこいさんが、いつもおこっていて こわいのです。そんなとき、なかよしのたけちゃんが、チュロがけがをしったりゆうを おしえてくれました。おこいさん、ほんとうは やさしいのかな？

【中級】少し長いおはなしにチャレンジしたいみなさんへ



おとな体験授業？

中級

なかがわ ちひろ/作
アリス館

今日は、ちょっとふしぎな「おとな体験授業」。「どんなおとなになりたいか」を聞いた紙を、金色の液体にいれたら、もわもわしたゆげがどんどんひろがって…。すると先生が、「みんなそれぞれ、おとな体験の世界へ、いつてらっしゃ〜い！」ところが、あれ？なんで？

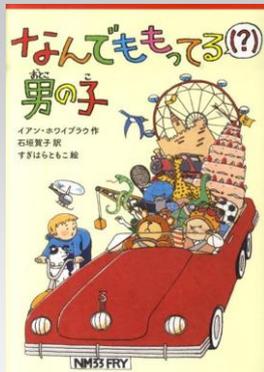


いつかの約束 1945

中級

山本 悦子/作 平澤 朋子/絵
岩崎書店

夏休み、みくとゆきなが出会ったのは、自分のことを「関根すず九さい」というおばあちゃん。九さいにはとても見えません。この人はいったいどこのだれなのでしょう。いっしょに町を歩きまわり、おばあちゃんのきおくをたどります。



なんでももってる〈?〉男子

中級

イアン・ホワイブラウ/作 石垣 賀子/訳 すぎはら ともこ/絵
徳間書店

大金もちのむすこフライは、なんでももっています。かんたんに手に入りますので、すぐにあきてしまいます。そこでふつうの男子ビリーに、みせびらかしてたのしむことに。さて、ふつうの男子ビリーがもっていて、大金もちのむすこフライがもっていないものとは？



車のいろは空のいろ ゆめでもいい

中級

あまん きみこ/作 黒井 健/絵
ポプラ社

松井さんは、空いろのタクシーのうんてんしゅさん。タクシーにのりこんだ 青いぼうしの子だぬきや、まよなかの公園であそんでいる 小さなこどもたち。松井さんがであう ふしぎなお客さんや、ふしぎなせかい。こころがあたたかくなる 7つのおはなしです。



りすねえさんのさがしもの

中級

大久保 雨咲／作 かじり みな子／絵
光村図書出版

りすねえさんが、大切にしまっておいたチケットが見つかりません。ともだちのエナガもいっしょにさがしましたが、どこにもありません。ゆめにでてきてほしいくらいに、行きたかった音楽会のチケットです。いったいどこにいったしまったのでしょうか。



じゅげむの夏

中級

最上 一平／作 マメイクダ／絵
文溪堂

「四年生の夏休みを、最高の夏休みにしようよ」親友のかっちゃんと言った。かっちゃんは、筋ジストロフィーという病気だ。病気が進むと、歩けなくなることも、ぼくは知っていた。かっちゃんのねがいをかなえたい。ぼくら四人 夏の冒険がはじまる。

【上級】深く考えて読んでみたいみなさんへ



起業家フェリックスは12歳

上級

アンドリュー・ノリス／著 千葉 茂樹／訳
あすなる書房

フェリックスは、絵の上手なモーが描いたバースデーカードを売って、お小遣いを稼ぐことを思いついた。それは口コミで人気になり、パソコンに詳しいネッドと会計担当のエリーを加わって、オンラインショップを始めた。フェリックスが最後に手にするものとは……。



空から見える、あの子の心

上級

フシェリー・ピアソル／作 久保 陽子／訳 平澤 朋子／絵
童心社

いつもひとりぼっちで、校庭に寝そべっているジョーイ。へんな行動ばかりするので知られていたが、エイプリルは優しく見守っていた。ある日、ジョーイのすてきな秘密を発見する。その秘密が学校中に知れわたると、みんなの反応が がらりと変わっていく。